事業シート（令和9年度予算）

事業名	91200　外国青年（外国語指導助手）招致事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント				
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	1	教育総務費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します
					目	2	事務局費			施策分野	(2)	学校教育		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・児童生徒が生きた英語に接し、コミュニケーションする機会を得る中で、英語を中心とする異文化理解の資質を養うとともに、郷土を愛し郷土の文化を尊重する態度を育てる。	概要	・外国語指導助手（ALT）を招致し、小中学校における次のような英語指導等を進める。 ・小学校の英語活動の時間に、担任とともに簡単なコミュニケーション活動を行う。 ・中学校の英語の時間に英語教師とともに英語指導をする。 ・イングリッシュシャワーや英語スピーチコンテストなどに参加する児童生徒の支援をする。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		14,944	10,392	15,475			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（外国青年招致事業雑入）	1,200	1,206	1,320			
一般財源		13,744	9,186	14,155			
新規・拡充	主な事業内容						
	外国青年（外国語指導助手）の招致	14,944	10,392	15,475			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 15,000 増減 (d)-(c)
12,569			△ 2,906
1,080			△ 240
11,489			△ 2,666

要求額	説明
12,569	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・外国語指導助手（ALT）による中学校への1学級あたりの訪問を週1～2時間実施 ・外国語指導助手（ALT）による小学校への1学級（3年生以上）あたりの訪問を週1～2時間実施 ・消防署で行われる外国人を対象とした災害や病気等を想定した訓練（1月）にALT5名が参加 ・市図書館で行われるこどもたちを対象にした読み聞かせに月1回ALT2～3名が参加 ・中学生を対象としたイングリッシュシャワーを夏休みに実施。18名が参加 ・小学生を対象としたイングリッシュシャワーを10月と12月に実施。10月25名、12月44名が参加 ・希望する学校にALTを複数名派遣し、イングリッシュデイを実施。8校が参加	
評価等	・ALTを対象とした授業力向上研修により、ティームティーチングでの工夫や困り等の共有、授業やこどもたちとの関わりに対する意欲喚起を図った。 ・参加対象学年の枠を広げたり積極的な周知を行ったことにより、昨年度と比べ、イングリッシュシャワーに参加する児童生徒が増加した。 ・イングリッシュデイを希望する学校も増加。ALTの派遣を通して、英語や異文化に触れる機会を増やすことができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・授業力向上研修を通してALTの効果的な活用について担当者から各学校に提案する。 ・読み聞かせ等、学校内でだけでなく、地域における国際交流活動を今後も継続して行う。 ・イングリッシュシャワーの小学校の参加対象学年を4～6年にしたことにより参加者が増えたため、次年度以降も同様に実施。 ・イングリッシュデイについても引き続き学校と連携を図りながら実施。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	91210　教育委員会事務局運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		
					款	9	教育費			ポイント		
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	1	教育総務費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流
					目	2	事務局費			施策分野	(2)	学校教育

根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・教職員の健康維持、病気の早期発見（学校保健安全法に基づく） ・日本スポーツ振興センター共済への加入促進により、学校管理下における児童生徒の災害発生時の保護者経費負担の軽減を図る。 ・教職員や学校医等の活動支援により、児童生徒の健全な育成を図る。	概要	・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象とした年代別健康診断を行う。 ・保護者の日本スポーツ振興センター共済掛金の一部を負担する。 ・教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担および団体への助成を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		14,346	13,745	14,125			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（日本スポーツ振興センター　　）	2,653	2,648	2,561			
一般財源		11,693	11,097	11,564			
新規・拡充	主な事業内容						
	日本スポーツ振興センター負担金	5,700	5,584	5,500			
	教職員健康診断	3,200	2,946	3,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	14,400 増減 (d)-(c)
14,953			828
2,491			△ 70
12,462			898

要求額	説明
5,299	
3,418	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・年代別健康診断　214人 ・胸部レントゲン検査　579人 ・共済掛金の一部負担金　6,042人 ・各種団体への負担金、補助金の支出　負担金　11団体、補助金　1団体	
評価等	・教職員の健康推進のため、継続して事業を実施することができた。 ・学校管理下における児童生徒の災害補償をすることにより、保護者負担の軽減を図ることができた。 ・校長会等への負担により、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施することができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・レントゲン検診等は、教職員の健康推進のため、継続して事業を実施する。 ・日本スポーツ振興センターの加入で学校管理下における児童生徒の災害補償がなされるため、継続して保護者負担の軽減を図る。 ・各種団体への負担を行うことにより、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	91240　教育研究所運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり		
					項	1	教育総務費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		目	2	事務局費			施策分野	(2)	学校教育		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・教育研究所（研究・研修センター・相談・資料センター）を中心に教職員や児童生徒等の支援の充実 ・であい塾、学びの多様化教室「にじ色」の運営や相談体制の充実などによる不登校児童生徒の学級復帰への支援 ・幼保小連携協議会を中心とした活動による幼稚園や保育園から小学校への円滑な就学の援助	概要	・指導力向上に資する教員研修を行う。 ・指導主事が学校訪問し教職員の指導を行う。 ・であい塾（不登校児童生徒適応指導教室）、学びの多様化教室「にじ色」の管理、運営を行う。 ・幼保小連携のための朝のスタートプランなどによる生活習慣形成の支援を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
緊急サポートスタッフの派遣	0回		0回

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		13,663	12,088	10,260			
特定財源	国費（　情報機器整備事業費　1/3　）	1,122	0				
	県費（　道徳教育地域支援事業費　10/10　）			250			
	その他（　夢・まちづくり基金繰入金、敷地占用料　）	500	403				
一般財源		12,041	11,685	10,010			
新規・拡充	主な事業内容						
	であい塾児童生徒送迎、不登校児童生徒教育相談等	1,620	1,971	1,840			
	大学連携による研修等	50	0	50			
	タブレット端末の運用、貸出用ルーター通信使用料等	260	0				
	いじめ防止アドバイザーの派遣	1,400	1,217	1,400			
	教育支援センター（学びの多様化教室「にじ色」の運営にかかるものを含む）関係	2,020	1,017	2,120			
	ICT機器運用支援ヘルプデスクの導入・運用	3,370	3,366				
○	幼保小ともに育む委員会の設置						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 10,000 増減 (d)-(c)
10,835			575
250			0
10,585			575

要求額	説明
1,848	
42	
1,446	
2,136	
427	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・教員の研修等の実施　38回　延べ参加人数2694人 ・学校への出前講座の実施 ・大学連携による研修の実施（日枝中、北小、丹生川中、荘川さくら学園） ・校内研究支援と指導助言の実施 ・相談体制の整備（年間677件対応） ・いじめ防止アドバイザーの各学校への派遣（延べ167回） ・支所域での移動であい塾の開設（清見、国府、丹生川） ・学びの多様化教室「にじ色」の運営	
評価等	・管理職対象の校長研、教頭研やミドルリーダーの育成のための教務主任研、研修主事研、初任者対象の初任者研修等年齢や立場に応じた研修の充実を図ることができた。 ・不登校相談ダイヤルでは、児童生徒の生活に関する相談、「にじ色」の入室や見学相談、学校での支援に対する相談等が寄せられ、であい塾や「にじ色」の入室、学校での必要な支援につなげることができた。 ・モバイルルーターの貸出によって災害や感染症等による休校時などにおける家庭でのオンライン学習を進めることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・教員研修については、対面研修とオンライン研修両方の充実を図り、多様な立場や年齢層のニーズにあった研修を行う。 ・いじめ、不登校の相談体制とその対応については、一人ひとりにあった居場所づくりと未然防止の両面を充実させることが必要である。 ・引き続き円滑にタブレットを使用するため、支援を継続する必要がる。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・幼保小の連携強化に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	91250　特別支援教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		目	2	事務局費

総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり
		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり
	分野別	政策分野	2	こども・教育・交流
		施策分野	(2)	学校教育

根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・学びにくさ、生活のしづらさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じて適した指導・援助を行い、自立を支援する。	概要	・就学相談会、特別支援教育講演会、教育支援委員会を開催する。 ・医療行為を必要とする障がい児等を訪問看護により支援する。 ・幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校等、就学前から卒業までを見据えた切れ目ない支援を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		2,740	1,777	4,180			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		2,740	1,777	4,180			
新規・拡充	主な事業内容						
	障がい児等に対する地域と一体化した教育支援	270	206	310			
	医療行為を必要とする児童生徒の学校活動に対する支援	1,720	1,146	2,120			
	心のスクール検討委員会の運営	750	425	1,750			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 2,800 増減 (d)-(c)
3,896			△ 284
3,896			△ 284

要求額	説明
233	
2,058	
1,605	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・就学相談会の実施（5月下旬～6月上旬各小学校で実施）　1回 ・特別支援教育講演会の実施（参集型）　2回　約140人 ・教育支援委員会の開催　2回（内2回目は前半と後半で分けた） ・訪問看護の実施　毎日 ・幼保小連携協議会　2回（参集とオンライン） ・心のスクール検討委員会の開催　3回 ・心のスクール検討委員会（勉強会）の開催　1回 ・個別のケースカンファレンスの実施　8回　19人	
評価等	・特別支援教育だけでなく通常学級担任の理解を深めるのに適した講師を招き、特別支援教育コーディネーター、通級指導担当、希望する教諭まで参加範囲を広げ、講演会を開催することができた。 ・導尿ケアが必要な児童に対し、継続して対応するとともに、中学校への引継ぎができた。 ・不登校の実態調査を分析し、未然防止策や支援の在り方について、多角的な視点から検討することができた。 ・医療未受診で、支援が必要な児童生徒について個別のカンファレンスを実施し、医療的な見地からの助言をいただき、学校での支援につなげることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・今後も教職員の資質向上のための研修を充実させていく。 ・医療的ケアについては、急な医療的ケアを必要とする子もいる。現在その分も考慮した予算確保をしているが、その維持は必須だと考える。 ・心のスクール検討委員会において、医療と連携した不登校児童生徒への支援体制の充実を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	92200　小学校運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	2	小学校費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します
					目	2	教育振興費			施策分野	(2)	学校教育		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。 ・全教育活動を通して児童の心身の健全育成を図る。	概要	・学校運営に関する費用を負担する。 ・内科医・歯科医・薬剤師を委嘱し、児童の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を行う。 ・新入学時に安全な通学のため安全帽子と防犯ブザーを配付する。 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 ・児童の健康診断を実施する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童生徒の割合	86.4%		100%
教職員１人あたりの時間外勤務	28.8h		↘

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		41,630	39,897	49,977			
特定財源	国費（情報機器整備事業費 1/2、へき地児童援助費 1/3）	263	1,188	344			
	県費（学校基本調査事業費 10/10、スクール・サポート・スタッフ配置事業費 2/3 等）		7,530				
	その他（福祉健康基金繰入金）	680	600	600			
一般財源		40,687	30,579	49,033			
新規・拡充	主な事業内容						
	小学校運営事業	30,690	28,766	28,967			
	人間関係づくりのための心理検査の実施	2,520	3,236	2,500			
○	校務支援システムの運用	8,420	7,895	5,640			
	嘱託医報酬（内科医、歯科医、薬剤師）			12,870			
	スクールサポートスタッフ・学習指導員の配置			－			
	日本語学習指導員の配置						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 51,500 増減 (d)-(c)
48,531			△ 1,446
			△ 344
			△ 600
48,531			△ 502

要求額	説明
29,154	
1,540	
5,039	
12,798	
－	人件費に計上
－	人件費に計上

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(小3～6年生)　2,599人 ・児童健康診断　3,869人 ・防犯ブザーの配付　584人 ・校務支援システムの運用及び更新 ・嘱託医による健康診断の実施 ・感染症、疾病予防に関する嘱託医からの指導助言を踏まえた学校の衛生管理等の実施	
評価等	・小3～6年に対する心理検査を実施。各校で結果を分析し児童の変化に気づくことで、早めの対策を講じることができた。また、結果を懇談の時などに本人や保護者と共有し、その後の生活に生かすことができている。 ・校務支援システムを活用することにより、出席簿、成績、出退勤把握の業務など、事務処理が統一化され、作業に係る負担を軽減し、学校職員の時間外勤務の減少にもつながっている。 ・次期校務支援システムへの更新（R8.9、県内自治体共同調達）に向けて必要な調整等を実施した。 ・児童の健診や学校の衛生管理等により適切な教育環境整備を行った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・本事業費は、児童が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、児童の心身の健全育成のため継続して事業を実施する。・校務支援システムは学校職員の事務処理の統一化と業務の効率化を図ることができるため、今後も必要である。 ・次期校務支援システムについては、県が主体となり適切に共同調達できるようすすめる。 ・学校環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・学校歯科システム（校務支援システムのオプション機能）の導入に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	92210　小学校心の教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	9	教育費
					項	2	小学校費
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		目	2	教育振興費

総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり
		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり
	分野別	政策分野	2	こども・教育・交流
		施策分野	(2)	学校教育

根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・個々の内面に寄り添い支援しながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。 ・児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校問題などの未然防止を図る。	概要	・保健相談員、特別支援員を配置し、児童の学校生活の支援を行う。 ・スクールカウンセラー（臨床心理士）を派遣し、心のケアを行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		2,550	2,437	2,550			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　学校内教育支援センター整備促進事業費　1/3　）		1,082				
	その他（　　）						
一般財源		2,550	1,355	2,550			

新規・拡充	主な事業内容	R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
	スクールカウンセラーの派遣	2,500	2,388	2,500			
	保健相談員・特別支援員の配置			－			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	2,600 増減 (d)-(c)
2,550			0
2,550			0

要求額	説明
2,500	
－	人件費に計上

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・臨床心理士によるカウンセリング時間　477.5時間 ・保健相談員（小学校及び義務教育学校前期課程）　60人　配置 ・特別支援員（小学校及び義務教育学校前期課程）　42人　配置 ・全校に設置した校内支援センターの運営	
評価等	・スクールカウンセラーの派遣により、悩みを抱える保護者や児童に寄り添う支援ができた。また、緊急の対応やWISC検査の実施など必要に応じて、スクールカウンセラーを派遣することができた。 ・スクールカウンセラーと教職員との連携体制を整え、児童の実態に応じて授業を行ったり、学習や集団生活に困り感をかかえる児童にカウンセリングをしたり、集団や個に適した支援を行うことができた。 ・不登校児童への対応や配慮が必要な児童に対応する保健相談員を増加させ、支援を継続することができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・発達障がいや不登校傾向の児童への対応、日本語が困難な児童への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。 ・相談員の資質・能力の向上や不登校対策（校内教育支援センターの充実）における教育相談の充実を図る。 ・相談員の配置数に応じた、適正な勤務管理、勤務態度等を指導する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	92220　小学校教育機器整備事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	9	教育費
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	2	小学校費
					目	2	教育振興費

総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり
		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり
	分野別	政策分野	2	こども・教育・交流
		施策分野	(2)	学校教育

根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・児童の学習意欲の向上と学力の定着を図る。 ・情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。	概要	・情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。 ・学校内で使用する教材備品の購入

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「国語の授業の内容はよく分かりますか」で分かると回答した児童生徒の割合	84.3%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		197,710	159,232	214,660			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金　）	43,000	43,093	75,160			
一般財源		154,710	116,139	139,500			
新規・拡充	主な事業内容						
	小学校教育機器整備事業費	67,640	57,105	75,400			
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化	22,680	3,530	23,830			
	電子黒板の配置	26,110	25,377	8,850			
	教材費	18,000	16,314	17,500			
	1人1台タブレットの活用、貸出用ルーター通信使用料等	63,280	56,906	89,080			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	271,100 増減 (d)-(c)
243,162			28,502
			△ 75,160
243,162			103,662

要求額	説明
109,165	
22,270	
6,190	
17,000	
88,537	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・GIGAスクール構想により整備・導入した校内LAN、電源キャビネット、1人1台タブレットの運用 ・GIGAスクール構想によるモバイルルータの運用　全300台 ・普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の運用 ・児童用タブレット（1人1台タブレット）の更新、教員用タブレットの導入	
評価等	・児童用タブレット（1人1台タブレット）を利用して様々な教育活動に工夫して取り組むことができた。 ・通信環境のない児童に対してモバイルルーターの貸出を実施し、校外での学習機会を充実させることができた。 ・全学級（少人数学級の増加分、特別支援学級を含む）に配置した電子黒板やタッチパネルディスプレイと教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的な学習体制を整備することができた。 ・児童用タブレット、教員用タブレットの更新・導入について適切に実施できた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・R7年度に見直した教育情報セキュリティポリシーに基づき、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、児童・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。 ・引き続きタブレットを利活用し、児童の主体的な学びにつなげていく。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・朝日学園整備に伴うネットワーク移設に必要な経費を計上 ・ICT機器の新規リースに必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	92230　小学校図書教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント				
					項	2	小学校費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		目	2	教育振興費			施策分野	(2)	学校教育		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・全小学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。 ・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。 ・新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。	概要	・学校図書館の管理・運営を行う。 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		56,880	56,514	53,660			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		56,880	56,514	53,660			
新規・拡充	主な事業内容						
	図書館指導員の配置	42,680	42,594	39,600			
	図書購入費	13,000	12,999	13,000			
	学校図書館への新聞の設置	1,200	921	1,060			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	53,900 増減 (d)-(c)
54,899			1,239
54,899			1,239

要求額	説明
40,819	
13,000	
1,080	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・図書館指導員の全校配置　17校 ・小学校図書購入冊数　6,370冊 ・全校図書館への新聞配備　17校	
評価等	・学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、生徒により必要な蔵書の充実を図った。 ・全校に新聞を配備することによって、調べ学習の環境を充実させることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、こどもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。 ・文部科学省の新聞の配備基準に基づき、小学校2紙、中学校3紙を図書館に継続配備する。 ・コーナーの設置や授業での図書活用を促し、社会の変化に関心をもつこどもの育成を目指す。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	92240　小学校要保護及び準要保護等児童援助事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり		
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	2	小学校費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します
					目	2	教育振興費			施策分野	(2)	学校教育		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を援助する。 ・特別支援学級等に在籍する児童の就学を奨励する。	概要	・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等の全部または一部を援助する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		22,000	18,272	12,000			
特定財源	国費（　特別支援教育就学奨励費　1/2、要保護児童就学援助費　1/2　）	3,500	2,379	2,000			
	県費（　）						
	その他（　）						
一般財源		18,500	15,893	10,000			
新規・拡充	主な事業内容						
	要保護及び準要保護児童就学援助費	8,000	6,496	8,000			
	特別支援教育就学奨励費	7,000	5,144	4,000			
	要保護及び準要保護児童給食費	7,000	6,632				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	12,000 増減 (d)-(c)
17,000			5,000
3,000			1,000
14,000			4,000

要求額	説明
11,000	
6,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等児童援助費　338人	
評価等	・児童の学用品の一部や給食費などを実費支給し、児童扶養手当など他部署による支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。 ・新入学用品費等について入学前支給を実施し、対象児童の保護者の負担軽減を図ることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・国の制度改正の動向等を把握しながら、学用品等の必要な援助の全部または一部を支給する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	92260　小学校郷土教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	9	教育費
					項	2	小学校費
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		目	2	教育振興費

総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり
		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり
	分野別	政策分野	2	こども・教育・交流
		施策分野	(2)	学校教育

根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。 ・地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。	概要	・各学校における特色ある学校経営を支援する。 ・各学校で、その地域の特色ある講師や、児童が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合	－		100%
将来の夢や目標を持っている児童の割合	84.3%		100%
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	62.4%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		8,977	8,776	9,003			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		8,977	8,776	9,003			
新規・拡充	主な事業内容						
	特色ある学校経営の推進	5,000	5,000	4,800			
	外部講師活用事業	1,900	1,900	1,900			
	社会科副読本「飛騨の高山」	1,120	1,023	1,330			
	社会科副読本「飛騨の高山」別冊	320	319	370			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	9,000 増減 (d)-(c)
9,174			171
9,174			171

要求額	説明
4,800	
1,900	
1,490	
381	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・小学校3年生用の副読本「わたしたちのまち高山」を発行 ・社会科副読本「飛騨の高山」を発行 ・外部講師　19校で延べ95名の講師を活用　950時間 ・特色ある学校経営推進事業　均等事業19校・認定事業10校	
評価等	・小学校3年生用社会科副読本「わたしたちのまち高山」の内容を適宜見直し、発行した。社会科学習の入口である3年生の学習に活用することができた。 ・社会科副読本「飛騨の高山」についても併せて発行し、地域の産業や歴史の学習に活用することができた。 ・各校に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・社会科副読本は「飛騨の高山」と3年生用別冊「わたしたちのまち高山」の内容を適宜見直し、より学習に生かせるものとなるよう小学校社会科部会と連携しながら改訂を進めていく。 ・特色ある学校経営推進事業により、各校が地域の特色等も踏まえて学校独自の活動を推進するためにも本事業は必要であり、今後も継続したい。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	93200　中学校運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり
					款	9	教育費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり
					項	3	中学校費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		目	2	教育振興費			施策分野	(2)	学校教育

根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。	概要	・学校運営に関する費用を負担する。 ・内科医・歯科医・薬剤師を委嘱し、児童の健康診断や健康管理、学校の衛生管理等を行う。 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 ・生徒の健康診断を実施する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童生徒の割合	90.9%		100%
教職員１人あたりの時間外勤務	25.7h		↘

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		71,469	69,848	37,163			
特定財源	国費（情報機器整備事業費 1/2、へき地生徒援助費 1/3）	152	796	219			
	県費（学校基本調査事業費 10/10、スクール・サポート・スタッフ配置事業費 2/3）		3,881				
	その他（飛騨高山ふるさと基金繰入金）	19,000	19,000				
一般財源		52,317	46,171	36,944			
新規・拡充	主な事業内容						
	中学校運営事業	25,489	23,912	25,533			
	人間関係づくりのための心理検査の実施	1,400	1,742	1,340			
○	校務支援システムの運用	5,080	4,878	3,730			
	嘱託医報酬（内科医、歯科医、薬剤師）						
	教科書改訂に伴う指導書等の購入	39,500	39,316				
	スクールサポートスタッフ・学習指導員の配置			6,560			
	日本語学習指導員の配置						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 増減 (d)-(c)
			36,100
36,192			△ 971
			△ 219
36,192			△ 752

要求額	説明
25,230	
1,086	
3,360	
6,516	
－	人件費に計上
－	人件費に計上

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施（中1、2年生）　1,396人 ・生徒健康診断　　2,183人 ・校務支援システムの運用及び更新 ・嘱託医による健康診断の実施 ・感染症、疾病予防に関する嘱託医からの指導助言を踏まえた学校の衛生管理等の実施	
評価等	・中1、2年生（義7、8年生）に対する心理検査を実施。各校で結果を分析し生徒の変化に気づくことで、早めの対策を講じることができた。 ・校務支援システムを活用することにより、出席簿、成績、出退勤把握の業務など、事務処理が統一化され、作業に係る負担を軽減し、学校職員の時間外勤務の減少にもつながっている。 ・次期校務支援システムへの更新（R8.9、県内自治体共同調達）に向けて必要な調整等を実施した。 ・生徒の健診や学校の衛生管理等により適切な教育環境整備を行った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・心理検査のより有効的な活用を検討するとともに、効果を検証していく。 ・本事業費は、児童が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、児童の心身の健全育成のため継続して事業を実施する。 ・次期校務支援システムについては、県が主体となり適切に共同調達できるようすすめる。 ・学校環境衛生設備を適切に維持管理し、安全、安心で快適な教育環境を確保する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・学校歯科システム（校務支援システムのオプション機能）の導入に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	93210　中学校心の教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	9	教育費
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	3	中学校費
					目	2	教育振興費

総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり
		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり
	分野別	政策分野	2	こども・教育・交流
		施策分野	(2)	学校教育

根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・個々の内面に寄り添いながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	・保健相談員、特別支援員を配置し、生徒の学校生活の支援を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源							

新規・拡充	主な事業内容						
	保健相談員・特別支援員の配置			－			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	0 増減 (d)-(c)

要求額	説明
－	人件費に計上

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・保健相談員（中学校及び義務教育学校後期課程）　21人　配置 ・特別支援員（中学校及び義務教育学校後期課程）　24人　配置 ・全校に設置した校内支援センターの運営	
評価等	・学習や集団生活に「困り感」をかかえる生徒に寄り添いながら、教職員との連携体制を整え、必要な支援を行うことができた。 ・特別支援学級や交流学級での授業に特別支援員が付き添うことで、生徒が安心して授業に参加することができた。 ・通常学級で支援が必要な生徒や不登校傾向の生徒に対する保健相談員の支援を継続することができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。 ・相談員の資質・能力の向上や不登校対策（校内教育支援センターの活用）における教育相談の充実を図る。 ・相談員の配置に応じた、適正な勤務管理、勤務態度等を指導する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	93220　中学校教育機器整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	3	中学校費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します
					目	2	教育振興費			施策分野	(2)	学校教育		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・生徒の学習意欲の向上と学力の定着を図る。 ・情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。 ・中学校教育機器の充実	概要	・情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。 ・学校内で使用する教材備品の購入

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「国語の授業の内容はよく分かりますか」で分かると回答した児童生徒の割合	81.5%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		132,240	104,278	151,100			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金　）	28,500	28,559	51,000			
一般財源		103,740	75,719	100,100			
新規・拡充	主な事業内容						
	中学校教育機器整備事業費	42,900	36,956	50,620			
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化	14,720	2,294	15,890			
	電子黒板の配置	16,540	16,862	7,700			
	教材費	16,000	14,126	15,500			
	1人1台タブレットの活用、貸出用ルーター通信使用料等	39,970	31,862	59,300			
	プログラミング教材購入	2,110	2,177	2,090			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	177,500 増減 (d)-(c)
157,227			6,127
			△ 51,000
157,227			57,127
要求額	説明		
61,169			
14,065			
6,034			
15,000			
58,936			
2,023			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・GIGAスクール構想により整備・導入した校内LAN、電源キャビネット、1人1台タブレットの運用 ・GIGAスクール構想によるモバイルルータの運用　全300台 ・普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の運用 ・生徒用タブレット（1人1台タブレット）の更新、教員用タブレットの導入	
評価等	・生徒用タブレット（1人1台タブレット）を利用して様々な教育活動に工夫して取り組むことができた。 ・通信環境のない生徒に対してモバイルルーターの貸出を実施し、校外での学習機会を充実させることができた。 ・全学級（少人数学級の増加分、特別支援学級を含む）に配置した電子黒板やタッチパネルディスプレイと教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的な学習体制を整備することができた。 ・生徒用タブレット、教員用タブレットの更新・導入について適切に実施できた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・R7年度に見直した教育情報セキュリティポリシーに基づき、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、生徒・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。 ・引き続きタブレットを利活用し、生徒の主体的な学びにつなげていく。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・ICT機器の新規リースに必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	93230　中学校図書教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント				
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	3	中学校費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します
					目	2	教育振興費			施策分野	(2)	学校教育		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・全中学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。 ・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。 ・新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。	概要	・学校図書館の管理・運営を行う。 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		39,050	38,699	42,240			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		39,050	38,699	42,240			
新規・拡充	主な事業内容						
	図書館指導員の配置	24,750	24,660	27,940			
	図書購入費	13,100	13,099	13,100			
	学校図書館への新聞の設置	1,200	940	1,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	39,100 増減 (d)-(c)
43,054			814
43,054			814
要求額	説明		
28,813			
13,100			
1,141			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・図書館指導員の全校配置　12校　（中学校・義務教育学校） ・中学校図書購入冊数　5,696冊 ・全校図書館への新聞配備　12校	
評価等	・学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。 ・全校に新聞を配備することによって、調べ学習の環境を充実させることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、こどもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。 ・文部科学省の新聞の配備基準に基づき、小学校2紙、中学校3紙を図書館に継続配備する。 ・コーナーの設置や授業での図書活用を促し、社会の変化に関心をもつこどもの育成を目指す。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	93240　中学校要保護及び準要保護等生徒援助事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり		
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	3	中学校費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します
					目	2	教育振興費			施策分野	(2)	学校教育		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を援助する。 ・特別支援学級等に在籍する生徒の就学を奨励する。	概要	・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等の全部または一部を援助する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		27,000	20,858	19,000			
特定財源	国費（　特別支援教育就学奨励費　1/2　）	3,000	1,838	2,000			
	県費（　）						
	その他（　）						
一般財源		24,000	19,020	17,000			
新規・拡充	主な事業内容						
	要保護及び準要保護生徒就学援助費	15,000	10,929	15,000			
	特別支援教育就学奨励費	6,000	3,929	4,000			
	要保護及び準要保護生徒給食費	6,000	6,001				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	19,000 増減 (d)-(c)
22,000			3,000
2,500			500
19,500			2,500

要求額	説明
17,000	
5,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等生徒援助費　205人
評価等	・生徒の学用品の一部や給食費などを実費支給し、児童扶養手当など他部署による支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。 ・新入学用品費等について入学前支給を実施し、対象生徒の保護者の負担軽減を図ることができた。
次年度以降の考え方（担当課）	・国の制度改正の動向等を把握しながら、学用品等の必要な援助の全部または一部を支給する。 ☑ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R7完了　☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	☐ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R8完了　☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	93260　中学校郷土教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	3	中学校費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します
					目	2	教育振興費			施策分野	(2)	学校教育		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。 ・地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。	概要	・各学校における特色ある学校経営を支援する。 ・各学校で、その地域の特色ある講師や、生徒が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
今住んでいる地域の行事に参加している生徒の割合	－		－
将来の夢や目標を持っている生徒の割合	73.0%		100%
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	62.4%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		5,370	5,048	5,289			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
一般財源		5,370	5,048	5,289			

新規・拡充	主な事業内容	R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
	特色ある学校経営の推進	3,200	3,200	3,200			
	外部講師活用事業	1,800	1,580	1,700			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	5,400 増減 (d)-(c)
5,289			0
5,289			0

要求額	説明
3,200	
1,700	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・外部講師　12校で延べ56名の講師を活用　790時間 ・特色ある学校経営推進事業　均等事業12校・認定事業9校	
評価等	・各校に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・特色ある学校経営推進事業により、各校が地域の特色等も踏まえて学校独自の活動を推進するためにも本事業は必要であり、今後も継続したい。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	93290　中学校部活動支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		
担当課	教育委員会事務局　学校教育課	内線	2358		項	3	中学校費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 多様な教育環境を整え、こどもの育ちを応援します
					目	2	教育振興費			施策分野	(2)	学校教育		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・部活動大会派遣等に要する経費の助成により、生徒の心身の健全育成を図る。	概要	・部活動やクラブにおいて各種大会へ派遣される生徒、教員等の経費の1/2を補助する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		23,000	18,474	29,340			
特定財源	国費（ 地域スポーツクラブ体制整備事業費 10/10 ）	10,600	11,000				
	県費（ 地域クラブ体制整備事業費 2/3 ）			10,220			
	その他（ 飛騨高山ふるさと基金繰入金 ）			7,000			
一般財源		12,400	7,474	12,120			
新規・拡充	主な事業内容						
	各種大会派遣に対する支援	8,000	5,060	8,000			
	部活動の地域移行に伴う支援	13,350	12,004	21,340			
	中学校部活動に対する支援	1,650	1,410				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			29,300
29,281			△ 59
10,790			570
			△ 7,000
18,491			6,371

要求額	説明
8,000	
21,281	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・部活動指導員配置促進事業 延べ13名の部活動指導員を9校の中学校に配置 ・各種大会派遣補助金 県大会出場多数、東海大会出場　18件（団体）、全国大会出場　1件 ・部活動の地域展開 地域スポーツ団体指導者に対する支援（13種目・61団体・112名） ・休日地域クラブ活動バスの運行 毎週土曜日の午前に4路線を運行 4つの各支所地域から最寄りの活動場所を経由しビッグアリーナまでを往復	
評価等	・部活動指導員配置によってより専門的な指導が可能となり、部活動指導の充実が図れた。 また、顧問の時間外勤務の負担軽減につながった。 ・部活動に対して、一律15,000円の公平かつ効果的な支援ができた。 ・地域移行している13種目、112名の指導者に支援ができた。 ・休日の地域クラブ活動の運行により、生徒を送迎する保護者の負担を軽減することができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・国の推進事業を活用して、休日の地域クラブ活動と平日部活動の支援を継続する必要がある。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・地域クラブ活動の支援に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	